

2023 年度 札幌大谷大学短期大学部保育科
一般選抜 I 期・特待生試験

日本史 B

注意事項

- 1 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 問題冊子は3ページあります。
- 3 試験中に印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて試験監督者に知らせてください。

【問題Ⅰ】 後三条天皇の時代～鎌倉時代に関する次の文章について、後の各問いに答えなさい。

(a)後三条天皇の時代ののち、(b)11世紀末から始まる院政期には、上皇による専制的な政治や、地方での反乱などが見られ、国政の混乱や社会の混迷が深刻になった。こうした中で台頭してきたのが伊勢平氏であった。平正盛は白河上皇に重用されて頭角を現した。その孫の(c)平清盛は貴族勢力を退け、1167年には武士として最初の太政大臣となって、平氏政権を樹立した。しかし、平氏の栄華は長くは続かなかった。

問1 下線部(a)に関する記述として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ①三善清行から「意見封事十二箇条」の上奏を受けた。
- ②大江匡房らの学識者を登用して、国政の改革を行った。
- ③延喜の荘園整理令を出し、記録荘園券契所（記録所）で荘園の審査を行わせた。
- ④皇女の八条院暲子に多くの荘園を伝えた。

問2 下線部(b)に関する記述として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ①山法師と呼ばれた延暦寺の僧兵が日吉神社の神輿をかついで強訴した。
- ②院政期には、主に公卿で構成される院庁の出す院庁下文などが効力を持った。
- ③法成寺などの寺院が建立され、その費用調達のために売位・売官が横行した。
- ④上皇（院）の力が強化されたため、知行国の制度は衰退した。

問3 下線部(c)に関する記述として適切でないものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ①保元の乱では、天皇方につき、上皇方の源為義・平忠正らと争った。
- ②平治の乱では、藤原信頼や源義朝・源義平らを滅ぼした。
- ③娘の徳子の産んだ子が高倉天皇として即位すると、外戚となって権勢を強めた。
- ④宋との貿易を推進するため、摂津の大輪田泊を修築した。

問4 鎌倉幕府の主な役職である執権は、北条氏一族によって世襲された。北条氏と関係の深い次のⅠ～Ⅳの出来事を年代の古い順に正しく並べたものはどれか。あとの①～⑧のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 三浦泰村が滅ぼされる。 Ⅱ 比企能員が滅ぼされる。
- Ⅲ 宗尊親王が将軍となる。 Ⅳ 和田義盛が滅ぼされる。

①Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳ ②Ⅰ→Ⅳ→Ⅲ→Ⅱ ③Ⅱ→Ⅳ→Ⅰ→Ⅲ ④Ⅱ→Ⅳ→Ⅲ→Ⅰ

⑤Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ→Ⅳ ⑥Ⅲ→Ⅳ→Ⅱ→Ⅰ ⑦Ⅳ→Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ ⑧Ⅳ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ

問5 鎌倉幕府によって六波羅探題が設置されるきっかけとなった出来事に関する記述として適切でないものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ①後鳥羽上皇が北条義時追討の兵を挙げたことから始まった。
- ②この出来事の直後、幕府は仲恭天皇を廃した。
- ③この出来事ののちも、朝廷では引き続き院政が行われた。
- ④この出来事ののち、上皇方の貴族らの土地が没収され、新たに本補地頭が任じられた。

【問題Ⅱ】 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

蝦夷島の道南部に位置する和人地に勢力をもっていた蠣崎氏は、近世になると（ア）氏と改称して、1604（慶長9）年、（イ）から（ウ）との交易独占権を保障され、藩制を敷いた。（d）和人地以外の広大な蝦夷地の河川流域などに居住する（ウ）集団との交易対象地域は（エ）あるいは場所と呼ばれ、そこでの交易収入が家臣に与えられた。（ウ）集団は1669（寛文9）年、（オ）を中心に（ア）藩と対立して戦闘をおこない、一進一退の攻防を繰り返した。しかし、（ア）藩は和睦の席上企てた謀略により（オ）父子をだまし討ちにするなどして結果的に勝利した。

この（オ）の戦いで（ウ）は全面的に（ア）藩に服従させられ、さらに18世紀前半頃までには、多くの（エ）が和人商人の請負となった。

（e）こうした（カ）制の発達により、各場所には支配人や通辞、番人などの和人が派遣され、土地の（ウ）を労働力として使役していくが、請負商人側と（ウ）側は対等な関係ではなく、（ウ）が一方的に低賃金で働かされていた。こうした矛盾がやがて（キ）の戦いへとつながっていく。

問1 （ア）～（キ）に入る語句について、それぞれ答えなさい。

問2 下線部(d)に関連して、次の問いに答えなさい。

江戸時代の諸藩は、石高を幕府によって割り振られ、数万石の大名として幕藩体制の一翼を担っていた。しかし、成立当初の（ア）藩は、蝦夷地の（ウ）との交易による利益で藩財政を支えていた。石高のない大名である（ア）藩主は特殊な存在だったが、「石高がない」とはどのような意味か。具体的に答えなさい。

問3 下線部(e)に関連し、こうした状況を下記『知床日誌』などに記した伊勢国出身の北方探検家・開拓半官の人物名を答えなさい。

舎利、アハシリ両所にては女は最早十六七にもなり、夫を持べき時に至ればクナシリ島へ遣られ、諸国より入来る漁者船方の為に身を自由に取扱はれ、男子は娶る比に成ば遣られて昼夜の差別なく責遣はれ、其年盛を百里外の離島にて過す事故終に生涯無妻にて暮す者多く、【中略】又夫婦にて彼地へ遣らるる時は、其夫は遠き漁場へ遣し、妻は会所また番屋等へ置て、番人稼人（皆和人也）の慰み者としられ【…以下略…】

『知床日誌』一部改編

問4 この時代、江戸幕府は四つの窓口を通して異国や異民族との交流をもった。明清交代を契機に、東アジアにおいては伝統的な中国を中心にした冊封体制と日本を中心にした四つの窓口を通じた外交秩序とが共存する状態となっていく。四つの窓口のうち一つは（ア）だが、残りの三つをすべて答えなさい。

【問題Ⅲ】 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

昭和期の日本外交は、1927年の東方会議以降、明確に中国政策が強硬路線に転換していった。（f）田中義一内閣では、満州軍閥の（ク）を支援するとともに、（g）山東出兵を実施した。しかし

(ク) が権力抗争に敗れると、現地では軍閥支援ではなく、直接満州を支援する構想へと方針を変え(ク)を爆殺する。しかしこの事件をめぐって首相が天皇の不興をかい、内閣は1929年に総辞職した。また中国では、こうした日本の動きに対抗して民族運動が高まっていった。

この動向に危機感を高めた(ケ)は、本来の主任務は関東州および南満州鉄道の警備であったが、民族運動が満州へ及ぶのを阻止し、同地域を日本の勢力下へ取り込むよう計画、(h)1931年に柳条湖事件を起こし、軍事行動を開始、満州を軍事占領した。そして翌年には傀儡政権である満州国を建国させた。日本政府はこうした(ケ)を中心とする満州での動きに当初不拡大方針を声明したが、世論の熱狂もあり、1932年9月には満州国を承認した。これらに対し、国際連盟は満州へ(コ)調査団を派遣、報告書を作成させ、満州国が日本の傀儡政権であることを認定、日本の満州国承認撤回を含む勧告案を採択した。これに日本政府は反発、国際連盟の脱退を通告した。

さらに(ケ)は、(i)北京周辺の河北・山西・綏遠・チャハル各省を日本の支配下に取り込む政策を進め、1935年に同地域にも傀儡政権を樹立した。その後、日本政府もこうした政策を国策として推進することを決定したため、中国では翌1936年12月の(サ)を契機として、国民政府と共産党の内戦を停止、抗日民族統一戦線が結成された。

1937年7月に(j)盧溝橋事件が発生、これを契機として日中両国の戦闘は全面戦争に発展した。翌1938年に(k)日本政府は「国民政府を対手とせず」と声明を発し、各地に傀儡政権を樹立、さらにそれらを統合した政権との間で戦争終結を図ったが失敗し、戦争は長期化していった。

問1 (ク)～(サ)に入る適切な語句を、それぞれ解答欄に記入しなさい。

問2 下線部(f)の首相が総裁をつとめ、この内閣の与党となった政党名を答えなさい。

問3 下線部(g)に関する説明文①～③について、正誤の組み合わせとして最も適切なものを次の1～4の中から一つ選びなさい。

- ① 1927年から翌1928年にかけて、合計3回にわたり派兵した。
- ② 南満州鉄道の爆破を受け、その報復および保護を名目に出兵した。
- ③ 日本軍と共産党軍との間で武力衝突が起こり、済南事件に発展した。

1 ①正－②誤－③正 2 ①誤－②正－③誤 3 ①正－②誤－③誤 4 ①誤－②正－③正

問4 下線部(h)を何というか。適切な語句を、漢字4字で解答欄に記入しなさい。

問5 下線部(i)を何というか。最も適切なものを、次の中から一つ選びなさい。

新体制運動 国権回収運動 トラウトマン和平工作 華北分離工作

問6 下線部(j)が発生した都市名を答えなさい。

問7 下線部(k)のこの声明を発した首相として最も適切なものを、次の中から一つ選びなさい。

岡田啓介 広田弘毅 近衛文麿 東条英機